

高校生がヒラスの刺身に挑戦

しま自慢研究会豆酛支部が魚のおろし方教室を開催

料理を通して対馬で捕れる魚に親しんでもらい、地元産の新鮮な魚をおいしく食べてもらおうと地域活性化グループ「しま自慢研究会」豆酛支部が6月18日、対馬高校で魚のおろし方教室を開き、高校生と一緒に魚料理を作り味わいました。

魚は豆酛で捕れた平子と呼ばれるヒラスの幼魚（約1.5kg）を使用。国際文化交流コースの1年生14名が、研究会のメンバー4名から指導を受けながら、包丁を使ってウロコを取り、頭を落とし、腹を割いて内臓を取り出した後、三枚におろし刺身にしました。また、刺身以外の部分を使った「いり焼き」と焼いた皮を入れた「なます」にも取り組みました。

生徒たちは、ごちない手つきながらも出刃包丁を手に真剣に料理していました。

奈良県から対馬高校に離島留学中という狭川典磨くんは、「奈良ではスーパーでしか魚が見れないので、今日は貴重な体験になりました。料理もおいしかったです」と話していました。



魚料理に励み、味わう高校生 料理を



釜山外国語大学の学生が対馬市民と協力して漂着ゴミの回収を行う日韓市民ビーチクリーンアップが、5月31日と6月1日の2日間、上県町の田ノ浜と佐護湊の海岸で実施されました。清掃活動には93名の大学生と、島内各地から市民ボランティア（初日202名、2日目177名）が参加。日韓合わせて2日間で延べ565名が作業にあたりました。



協力してゴミ回収を行う日韓の参加者（田ノ浜）

釜山外国語大学の学生が対馬市民と協力して漂着ゴミの回収を行う日韓市民ビーチクリーンアップが、5月31日と6月1日の2日間、上県町の田ノ浜と佐護湊の海岸で実施されました。清掃活動には93名の大学生と、島内各地から市民ボランティア（初日202名、2日目177名）が参加。日韓合わせて2日間で延べ565名が作業にあたりました。

蒸し暑い天候と足場の悪い磯場や砂浜で行われた清掃活動は過酷なものでしたが、参加者は精力的に作業に励み、海岸に打ち上げられた発泡スチロールや漁網といった漁具、ペットボトルやジャンプの容器といった家庭ゴミ等を集めました。

2日間の作業で、1m入りゴミ袋304個分（4トトラック20台分）の漂着ゴミが回収されました。

海岸清掃を行うのは今年で6年目。平成15年に当時上県町の国際交流員だった朴柄俊さん（現在は韓国に帰国）が、対馬の海岸に漂着している韓国からのゴミの多さに心を痛め、国境を越えて被害を及ぼしているゴミの現状を広く韓国国内に知ってもらおうと釜山の大学へ海岸清掃を呼びかけたことがきっかけで日韓合同の清掃活動が始められ、現在に至っています。

韓国の学生と対馬市民が協力して海岸清掃
ビーチクリーンアップに延べ565名が参加

クリーン作戦実施 「美津島地区」

6月8日、美津島地区クリーン作戦が実施されました。多くの区民が参加し、各地区内の道路や公園を中心に、空き缶、空きピンの回収、草刈等が行われ、作業後は見違えるほどきれいになりました。みなさんお疲れさまでした。

写真は赤島地区の様子です。



第3回 対馬市消防ポンプ操法大会

豊玉第1分団(仁位)、厳原第8分団(安神)が優勝

第3回対馬市消防ポンプ操法大会が6月8日、豊玉中学校グラウンドで開かれました。この大会は消防団員の消防技術の向上を目的に2年に1回開催されています。

競技は、防火水槽から吸水し、ホースを延長して消防ポンプから約60m先の火点と呼ばれるのめがけて放水するまでのスピードと一連の動作について正確さを競うものです。

大会には、各町からポンプ車の部に6分団、小型ポンプの部に10分団が参加。仕事の傍ら夜間に厳しい練習を繰り返してきた選手達は、その成果を発揮しようと全力で競技していました。各種目で優勝した分団は、8月3日に大村市で行われる県大会に出場予定です。



ポンプ車操法で優勝した
豊玉第1分団(仁位)



小型ポンプ操法で優勝した
厳原第8分団(安神)

大会成績

《ポンプ車操法の部》	優勝	豊玉第1分団(仁位)	197.5点
	2位	美津島第1分団(雞知)	192.5点
	3位	上県第1分団(佐須奈)	174.5点
《小型ポンプ操法の部》	優勝	厳原第8分団(安神)	152.0点
	2位	峰第1分団(三根)	147.5点
	3位	上対馬第5分団(西泊)	140.5点

対馬市消防団協力事業所

	所在地	事業所名	代表者(敬称略)
厳原	小浦79-2	(株)丸電工対馬営業所	出崎日出世
	" 144-7	対馬交通(株)	日高 昊
	南室22-1	対馬森林組合	扇 次男
	棧原40-2	ホマレ電業(株)	平江 誉則
	日吉303	大石建設(株)対馬支店	主藤庄八郎
	" 308	(株)東邦	渡邊 昭二
	中村606-19	対馬農業協同組合	吉野 栄二
	今屋敷726	(有)田川鐵工	田川 裕訓
	田淵933	あすか福祉会	素花 弘
	東里1-4	星野建設(株)対馬支店	星野 光圀
	" 339-1	(株)土田物流	土田 藹己
	" 341-42	博多海陸運送(株)対馬支店	主藤 芳明
	久田道1571	鈴木石油(株)	井野 祥人
" 1661	対州海運(株)対馬支店	松原 一征	
美津島	雞知乙650-1	(有)原田商店	原田 仁志
	久須保547	(有)美津島建設工業	糸瀬 清光
	" 693	長崎県漁業協同組合連合会	八島 康平
	" 711-8	(株)対馬海洋牧場	阿比留邦明
豊玉	仁位640	(有)高原組	村瀬 義博
	千尋藻355-9	豊玉町漁業協同組合	根津 廣次
峰	三根1	(有)小川工務店	小川 一成
	佐賀197-3	双須自動車整備工場	双須 正一
上県	飼所823	(株)昭大建設	糸瀬三代喜
上対馬	大浦59-1	対馬住宅設備(株)	武富 謙治
	" 字浜在所原66-1	社会福祉法人慶長会	武末 裕雄
	西泊206	上対馬町漁業協同組合	大浦 向上
	" 390	国民宿舎上対馬荘	近藤 義則
	" 横道137-2	大石建設(株)対馬支店比田事務所	洲河 伸治
	古里440-2	(株)大浦水道土木	大浦 正行
	比田勝956-12	(株)大川建設工業	眞崎 龍介

表示証



対馬市消防団協力事業所へ、表示証が交付されました

平成19年10月1日にスタートした対馬市消防団協力事業所表示証制度に伴い、平成20年6月1日付けで左記の事業所が対馬市消防団協力事業所として認定され、対馬市長から表示証が交付されました。

全国的に消防団員不足が問題となっている中、本市でも消防団員の確保が年々困難になっています。

表示証が交付された事業所は、消防団員を3人以上雇用し、災害時等に資機材を提供するなどして、対馬市民の「安心・安全を守る消防団」に対して積極的に協力をしていただいています。